

全国測量・伊能忠敬

伊能忠敬は江戸時代の商人で、55歳になった1800年から17年かけて日本全国を測量して日本の正確な姿を明らかにしました。

1818年、74歳で亡くなりましたが、その後弟子たちによって1821年に『大日本沿海輿地全図(だいにほんえんかいよちぜんず)』が完成しました。



伊能忠敬は、49歳で隠居し、江戸で天文学、暦学を学び始めました。その後、日本全体の正確な地図をつくるという大仕事をしました。



地球

館

2

階

4

足元音声ガイドNo.204

天文と測量



1 江戸時代の測量の目的

江戸時代、測量は何のためにどのように使われていたんだろう。



田畑の面積を測ることは、幕府にとっては必要な技術だったんだけど、測量結果は何のために使われていたの？



地球

館

2

階

4

天文と測量



2 江戸時代の測量の技術

伊能忠敬が距離を測るために使った道具の一つに、量程車があります。どんな構造としくみで、どのように使っていたんだろう。



また、他に距離を測る道具では、どのようなものがあったのかメモしておこう。



計算式なんつていうと、ちょっと難しそうだね。



この量程車、結構使いにくかったみたいですね。これに似た道具、学校では保健体育の先生が使ったりしていませんか？



3 今の自分の身のまわりのことで考えてみよう



私たちのまわりにも普通にある結構簡単な道具なんだね。



展示されている測量道具の中から、名称や機能で面白そうなものをひとつ選んで、イラストをつけて記録しておきましょう。



天文と測量ってどんな関係があるのかも記録しておきましょう。



展示されている測量道具は、身のまわりにあるどんなもので代用できるか考えてみよう。



正確に行った全国測量で
伊能忠敬が本当に知りたかったことは何だったのでしょうか？



展示では、「日本における緯度と経度の1度分の長さを知るために」とありますが、この1度分の長さから何が分かるのかな？



正確な地図を作ることに加えて、伊能忠敬にとっては別の目的があったみたいですね。



感じたこと

わかったこと

考えたこと

もっと知りたくなったこと

等を書こう

年

組

番

氏名